

バンガードがご採用される理由



- ・長寿命・環境対応製品(産廃、ゴミリサイクル問題)
耐用年数約10年の為、毎年のゴミ排出にならずISO環境の観点で見ても優れている。
またチューブ部分はポリカーボネート樹脂で産廃時には再生樹脂へリサイクル可能な素材。
- ・コストパフォーマンス(ランニングコスト重視製品)
耐用年数約10年の為、ご購入以後、毎年毎年の製品購入経費、産廃費用が発生しない。
- ・特許取得の強力な飛散防止機能
他社製品と比べ飛散防止能力の差が明らかであり安全性に優れている。
- ・蛍光灯の紫外線(UV) 約400ナノメートル(nm)まで99%カット
防虫率透明タイプ60%以上、イエロータイプ80%以上と圧倒的な防虫。
大手食品工場様、コンビニエンスストア様等にて導入後実証されている。
また紫外線カットによる日焼け、変褪色劣化防止効果もあり機能性が高い。
(防虫率は大手食品関連企業様にて試験実施した結果です。また数値が高い程良い)
- ・透明性が高く照度を著しく妨げない(当社実測約1~2%程度照度ダウン)
透明ポリカーボネート採用にて、照度、外観、美観を損なわない。
- ・特許や各種認証を取得の為、各方面より好評と信頼を得ている
安価粗悪品では無く認証が取れている本当に優れた安全な製品を選ぶ時代へと変わってきた。

BCP(事業継続計画)対策で現在大注目されている 蛍光灯飛散防止システム「BANGUARD」バンガード 今、何故、バンガードは熱く注目されているのか？！



■震災対策として蛍光灯飛散防止システム「BANGUARD」バンガードが各業界にて相次いで導入されている理由

●人体へのダメージ 避難脱出経路遮断

蛍光灯ガラス片による直接的な怪我、失明、粉塵(水銀含有)吸飲を防止させる。蛍光灯ガラス片が床に散乱し、足で踏む、転んで手や膝を裂傷、地震災害中は常に余震の恐れも同時に考えられ何が起きるか想定が出来ない。これらは迅速な避難、脱出を妨げるリスクと考えられ危険。

●PC・電算機器 ダメージ(システム障害)

細かく粉碎された蛍光灯ガラス片や微粒子状になった粉塵が電算機器、サーバー、使用しているPCへ降りかかり大規模な「システム障害」を引き起こす危険性がある。「システム障害」は現在BCP対策において重要なキーワードとなっている。平成7年の阪神・淡路大震災ではシステム障害を蛍光灯落下破損により被害を被った例が実際にある。一度機械の中に入り込んだガラス片、粉塵は完全に取り除くのは非常に難しい。

●避難所確保にダメージ

公共避難所(学校、幼稚園など)、一般企業なら社員食堂、オフィス等、帰宅困難者も含め避難所を使用するにあたり、割れた蛍光灯ガラス片の清掃から避難が始まるようでは問題である。また、震災は四季に関係なく起きる為、冬場の暖房対策も踏まえ蛍光灯ガラスだけではなく窓ガラスが飛散開放するのも大きなリスクとなる。窓ガラスには飛散防止フィルムを貼ることが望ましい。(中川ケミカル製飛散防止フィルムSC-74H)
他にも考えられますが、清掃時間等も含め事業復旧日数が掛かれば掛かる程、経営、運営に深刻なダメージが想定される・・・

■特許取得製品

蛍光灯飛散防止システム「BANGUARD」バンガードは特許名「蛍光灯飛散防止具」特許第3418179号(特許庁)を取得している。様々な蛍光灯対策品があるが飛散防止システム特許取得は「BANGUARD」バンガードだけ。オンリーワン製品。「類似品にはご注意ください」！！

■長寿命製品

バンガードは10年耐用(屋内使用)製品、ISOなどの観点から見て長寿命製品は「ゴミの排出」を減らすひとつの指針ともなっている。毎年毎年購入、ゴミ排出ではなく。製品ランニングコスト重視、毎年費用をかけずに長年使用できる製品としてバンガードはご採用頂いています。さらに各種サイズを豊富にご用意(業界NO1) 多様化する建築施設直管型蛍光灯に対応しています(専門メーカーだから出来るのです)。※リサイクル 製品寿命を終えたバンガードは弊社独自の回収システムにより二次製品へ再生するシステムを構築しています(ポリカーボネート)。

■各種認証が取れている

HACCP・AJVC(危害分析重要管理点対策共同事業センター)危害対策製品として国内で唯一認定が取得できている。
日本鉄道車両機械技術協会 難燃材試験成績を取得している、火災発生時も安心。



普段明かりとして便利な蛍光灯は割れると一瞬にしてカミソリの刃の如く凶器へと変わります！

蛍光灯飛散防止システム「BANGUARD」は安全な空間確保を目的に業界を問わず多くのお客様にご採用頂いています。